

知床の窓から見えるもの

2019年1月23日（水曜日）



あけましておめでとうございます。

本年も宜しくお願い致します。



孝仁会知床らうす国民健康保険診療所は、公設民営として7年目を迎えました。

患者さまが安心してかかれる、思いやりと笑顔あふれる診療所を今後も目指していく所存です。

本年も変わらぬご愛顧の程宜しくお願いいたします。

今回の記事を書かせて頂くのは、診療所のオープンと同時に羅臼に戻ってきた看護師です。

40代突入…大人になりました（笑）。他職員に支えてもらいながら、切磋琢磨、生涯学習、看護の道を歩んでおります。私も一町民であり、2児の母親でもあり、知床という自然に触れながら生きていくと実感する7年です。羅臼町が地元であり、羅臼岳や流水、オジロワシやトドがいる環境を、当たり前のように暮らしておりました。その後、地元を離れ、再び地元に戻り、空気が綺麗で、海産物が美味しく、治安も良く、知床羅臼町の魅力を再発見しています。昨年、小学校のレクリエーションの一環で、親子で観光船に乗る企画に参加しました。地元人なのに、観光船に乗るのは初めてでした。海から見る知床羅臼町の景色は、まさに大自然！と感動しました。羅臼町に来られた時はぜひ乗船してもらいたいなあと思います。自然豊かな環境、心優しい町民とともに、羅臼町の子育て支援制度や親族のサポートも受けながら、仕事と子育ての両立ができることに感謝するばかりです。健康第一、体力アップ！と思いながら、家の暖房から離れられない毎日です。

もうすぐ流氷が着岸するでしょうか。ウニがますます美味しくなりますね。

是非、羅臼に来てください。そして、医療者の方は診療所に見学に来てみませんか。

